

平成26年度決算に係る
定期監査調書

平成27年5月

畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	収入証紙取扱額調べ	4頁
8	収入事務処理状況調べ	4頁
	(1) 分担金及び負担金	4頁
	(2) 使用料	4頁
	(3) 手数料	4頁
	(4) 財産収入	5頁
	(5) 諸収入	5頁
	(6) 現金の取扱状況	5頁
9	収入未済額調べ	6頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6頁
11	不納欠損額調べ	6頁
12	負担金、交付金及び委託料支出状況調べ	6頁
	(1) 負担金	6頁
	(2) 補助金	6頁
	(3) 交付金	6頁
	(4) 委託料	7頁
13	工事請負費調べ	7頁
14	財産に関する調べ	8頁
	(1) 公有財産	8頁
	(2) 金券類の受払状況	10頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11頁
	(1) 土地及び建物	11頁
	(2) 物品	12頁
16	借受不動産明細調べ	12頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	13頁
	(1) 職員住宅	13頁
	(2) 職員駐車場	13頁
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	14頁
19	寄附物件の受納状況調べ	14頁
20	備品の処分状況調べ	15頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17頁
	(2) 物品の照合	17頁
22	事業別予算執行状況調べ	18頁
23	農業機械の管理状況	19頁
24	生産物(品)に関する調べ	20頁
25	試験研究調査事業別実施状況調べ	21頁
○	意見・要望等	27頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項 該当なし

(2) 監査意見

監査意見	処理状況等
使用できない物品は速やかに売却や破棄等の処分方針を決定し、その実施に必要な費用は予算化するなど適切に処分の手続きを行われたい。 ・カラースキャニングスコープ ・超音波診断装置	H26年度に廃棄を行う処分方針を決定したが、処分に必要な費用を予算化していないため、H27年度に速やかに処分を行う。

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
畜産試験場	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○大家畜の経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関すること。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○牛肉の肉質向上に関すること。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関すること。 ○飼料作物及び牧草の栽培調整利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成27年4月1日現在)

種別	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	当該年度	26.4.1現在	
定員	1	1	14	14	8	8	23	23	
現員	()	()	()	()	()	()	()	()	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	2	1	3	3	7	8	12	12	事務2名、畜産技術員8名(うち研究補助3名、飼育管理補助5名)、警備員2名

5 役付職員の調べ

(平成27年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	岡垣 敏生	1	1	
室長(肉用牛研究室)	福田 孝彦	2	1	
室長(育種改良研究室)	田淵 一郎	1	1	継続勤務期間:8年
室長(酪農・飼料研究室)	吉岡 勉	4	1	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概	要																								
<p>優良遺伝子を活用した新鳥取和牛の創造</p> <p>決算(見込)額 2,814千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 2,814千円</p> <p>実施計画期間 H13年度～</p> <p>○将来ビジョン 【ひらく】地域で・県外で・国外で新時代に向かって扉をひらく</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 市場価値の高い「新鳥取和牛」を創り出すために、産肉性と種牛性に関わる優良遺伝子を探索し、種雄候補牛や優良雌牛の選抜に活用して、優秀な種雄牛の造成を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>(1) ゲノム育種価算出と精度検証(遺伝研との共同研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度640頭の肥育牛サンプルのSNP解析を実施(昨年までに764頭) 枝肉6形質について、約6,300頭(遺伝研データ含む)のSNPデータでゲノム育種価予測式を算出(オレイン酸は約1,400頭から予測式を算出) ゲノム育種価予測式を用いて、種雄牛、種雄候補牛、繁殖雌牛合わせて約160頭のゲノム育種価を算出 種雄牛の子の肥育成績から能力を算出するため、種雄牛が5歳頃に初めて判明する「推定育種価(能力正解値)」と、生まれてすぐに能力推定が可能な「ゲノム育種価」との相関を調べ、ゲノム育種価の能力推定精度を検証 <p>(2) ゲノム育種価による受精卵段階での産肉能力推定(全農ET研との共同研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> H25年度から2カ年計画で、共同研究をスタート(来年度も更新し3カ年に) H25年度、H26年度それぞれ1,000頭の肥育牛サンプルのDNAを抽出 全農ET研究所が、約1,500頭のSNP解析を実施 <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> 水分含量とグリコーゲンのデータを持つ肥育牛のSNPデータを収集 毛根からのDNA抽出方法の検討 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 推定育種価とゲノム育種価の相関係数は高く、予測式算出に用いる肥育牛を増やすことで精度が向上した。 	<p>ゲノム育種価と推定育種価の相関係数</p> <table border="1" data-bbox="1061 1254 1468 1590"> <thead> <tr> <th>枝肉形質</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>枝肉重量</td> <td>0.91</td> <td>0.92</td> </tr> <tr> <td>ロース芯面積</td> <td>0.69</td> <td>0.83</td> </tr> <tr> <td>バラ厚</td> <td>0.81</td> <td>0.76</td> </tr> <tr> <td>皮下脂肪厚</td> <td>0.58</td> <td>0.69</td> </tr> <tr> <td>推定歩留</td> <td>0.78</td> <td>0.87</td> </tr> <tr> <td>脂肪交雑</td> <td>0.63</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>オレイン酸</td> <td>0.87</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>	枝肉形質	H25	H26	枝肉重量	0.91	0.92	ロース芯面積	0.69	0.83	バラ厚	0.81	0.76	皮下脂肪厚	0.58	0.69	推定歩留	0.78	0.87	脂肪交雑	0.63	0.91	オレイン酸	0.87	0.9
枝肉形質	H25	H26																								
枝肉重量	0.91	0.92																								
ロース芯面積	0.69	0.83																								
バラ厚	0.81	0.76																								
皮下脂肪厚	0.58	0.69																								
推定歩留	0.78	0.87																								
脂肪交雑	0.63	0.91																								
オレイン酸	0.87	0.9																								
	<p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> X染色体のSNP情報をゲノム育種価予測式の算出に組み込み精度向上を目指す 産肉形質以外のゲノム育種価活用を検討する(おいしさ、繁殖性等) 種雄候補牛や優良雌牛の選抜にゲノム育種価を活用する <p>オ 用語解説</p> <p>SNP: 一塩基多型(牛個体ごとに遺伝子型が異なり、遺伝的な個体差の要因)</p> <p>ゲノム育種価: ゲノム上に多数存在するSNPを一斉検査することで、その牛個体の産肉能力などを正確に推定するもの。</p>																									

事業名	概要	要																																																			
<p>砂丘地飼料作物栽培及び牛への給与に関する試験（平成25～27年度）</p> <p>決算（見込）額 379千円</p> <p>（財源内訳） 一般財源 379千円</p> <p>○将来ビジョン</p> <p>○政策項目</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>（ア）目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼料価格の高騰により、畜産農家の自給飼料生産意欲は高まっている。 ・また、県中部（北栄町）の砂丘農地では、葉たばこ廃作が主原因の耕作放棄地が拡大しているが、後継品目が無く問題となっている。 ・現在、北栄町では飼料用トウモロコシの栽培は行われておらず、本試験で砂丘地を活用した栽培体系を提案出来れば有望な後継品種となる。 ・ただし、砂丘地での自給飼料生産はこれまで実績がほとんど無いため、砂丘地での自給飼料生産を本試験により検証し、耕作放棄地を活用した自給飼料生産により、自給率向上と耕作放棄地解消につなげる。 <p>（イ）事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25試験結果より、砂丘地に適する飼料作物は飼料用トウモロコシと確認したので、H26は飼料用トウモロコシを砂丘耕作放棄地20aに栽培し、栽培体系、生育特性、栄養特性を調査した。 ・砂丘地トウモロコシをサイレージ（細断して密封し、乳酸発酵させることで長期保存を可能にした飼料）にし、通常畑（畜産試験場内圃場）トウモロコシのサイレージとともに牛に給与し、嗜好性を比較した。 <p>イ 平成26年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候の状況に応じて灌水を適切に管理することで、干ばつと肥料の流出防止を両立した。 <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堆肥施用量8t/10aと4t/10aではトウモロコシ1本当たり乾物重量が同等であったので、コスト面から、4t/10aが適することが判明した。 ・砂丘地トウモロコシは通常畑（畜産試験場内圃場）トウモロコシと比較して、草高が低く、茎葉の水分含量が低いことが判明した。 ・砂丘地トウモロコシサイレージは通常畑（畜産試験場内圃場）トウモロコシサイレージと牛の嗜好性は変わらないことが判明した。 ・砂丘地トウモロコシサイレージの栄養特性は繊維分が多いことが判明し、また、懸念された砂の混入は無いことが判明した。 <div data-bbox="438 1377 1460 1646"> <table border="1"> <caption>堆肥施用量別の1本当たり乾物重量</caption> <tr><th>堆肥施用量</th><th>乾物重量 (g/本)</th></tr> <tr><td>8 t / 10 a</td><td>約 200</td></tr> <tr><td>4 t / 10 a</td><td>約 200</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>畑地別の草高</caption> <tr><th>畑地</th><th>草高 (cm)</th></tr> <tr><td>砂丘地</td><td>約 200</td></tr> <tr><td>通常畑</td><td>約 280</td></tr> </table> <table border="1"> <caption>畑地別の水分含量</caption> <tr><th>畑地</th><th>水分含量 (%)</th></tr> <tr><td>砂丘地</td><td>約 45</td></tr> <tr><td>通常畑</td><td>約 55</td></tr> </table> </div> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウモロコシの草高がスプリンクラーを越えてから、灌水にムラができたので、次年度ではスプリンクラーの高さを改善する。 ・砂丘地での生産コストを算出し、一般畑地と比較する。 ・砂丘地トウモロコシにおける、収量を確保するための注意点を踏まえた栽培指針を作成する。 <div data-bbox="909 1646 1460 2038"> <table border="1"> <caption>成分値の対西日本平均値比</caption> <tr><th>成分</th><th>対標比 (乾物%)</th><th>西日本平均値 (100%)</th></tr> <tr><td>水分</td><td>150</td><td>100</td></tr> <tr><td>粗蛋白質</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>粗脂肪</td><td>50</td><td>100</td></tr> <tr><td>NFE</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>粗灰分</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>粗繊維</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>ADF</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>NDF</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>TDN</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>DCP</td><td>100</td><td>100</td></tr> </table> </div>	堆肥施用量	乾物重量 (g/本)	8 t / 10 a	約 200	4 t / 10 a	約 200	畑地	草高 (cm)	砂丘地	約 200	通常畑	約 280	畑地	水分含量 (%)	砂丘地	約 45	通常畑	約 55	成分	対標比 (乾物%)	西日本平均値 (100%)	水分	150	100	粗蛋白質	100	100	粗脂肪	50	100	NFE	100	100	粗灰分	100	100	粗繊維	100	100	ADF	100	100	NDF	100	100	TDN	100	100	DCP	100	100	
堆肥施用量	乾物重量 (g/本)																																																				
8 t / 10 a	約 200																																																				
4 t / 10 a	約 200																																																				
畑地	草高 (cm)																																																				
砂丘地	約 200																																																				
通常畑	約 280																																																				
畑地	水分含量 (%)																																																				
砂丘地	約 45																																																				
通常畑	約 55																																																				
成分	対標比 (乾物%)	西日本平均値 (100%)																																																			
水分	150	100																																																			
粗蛋白質	100	100																																																			
粗脂肪	50	100																																																			
NFE	100	100																																																			
粗灰分	100	100																																																			
粗繊維	100	100																																																			
ADF	100	100																																																			
NDF	100	100																																																			
TDN	100	100																																																			
DCP	100	100																																																			

7 収入証紙取扱額調べ

(平成27年2月28日現在)

目	収入節	科目	目	件数	単価(円)	証紙はりつけ額(円)	備考
農林水産業手	畜産業手数料		飼料分析手数料	429	700	300,300	
			計(節)	429		300,300	
	目計			429		300,300	
	合計			429		300,300	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(単位:円)

目	収入節	科目	目	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
行政財産使用料			電力	1	14,280	14,280	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
			電気通信		19,500	19,500	0	0	"	
			計(節)	1	33,780	33,780	0	0		
	目計			1	33,780	33,780	0	0		
	合計			1	33,780	33,780	0	0		

(3) 手数料

(単位:円)

目	収入節	科目	目	件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
農林水産業手数料	畜産業手数料		飼料分析手数料	1	223,300	223,300	0	0	鳥取県手数料徴収条例	現金収入
			計(節)	1	223,300	223,300	0	0		
	目計			1	223,300	223,300	0	0		
	合計			1	223,300	223,300	0	0		

(4) 財産収入

(単位:円)

目	節	細節		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
		生乳、精液、子牛等売払	計(節)							
生産物売払収入	目計	生乳、精液、子牛等売払	12,180	38,351,830	38,351,830	0	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	12,180	38,351,830	38,351,830	0	0	0		
家畜類売払収入	目計	牛売払	75	46,548,114	46,473,603	0	74,511	74,511	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		計(節)	75	46,548,114	46,473,603	0	74,511	74,511		
財産貸付収入	目計	建物	1	7,780	7,780	0	0	0	公有財産事務取扱要項	
		計(節)	1	7,780	7,780	0	0	0		
目計	1	7,780	7,780	0	0	0	0			
合計			12,256	84,907,724	84,833,213	0	74,511	74,511		

(5) 諸収入

(単位:円)

目	節	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
		近畿大学受託事業	近畿大学受託事業							
受託事業収入	目計	近畿大学受託事業	1	1,900,000	1,900,000	0	0	0		
		計(節)	1	1,900,000	1,900,000	0	0	0		
雑入	目計	自動販売機設置取扱手数料	4	62,221	62,221	0	0	0		
		自動販売機設置にかかる電気代	4	30,745	30,745	0	0	0		
目計	1	1,080,000	1,080,000	0	0	0	0			
合計			9	1,172,966	1,172,966	0	0	0		
合計			10	3,072,966	3,072,966	0	0	0		

(6) 現金の取扱状況
ア 現金取扱状況(平成27年2月28日)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
畜産業手数料	223,300	飼料分析手数料
合計	223,300 (139件)	

イ つり銭の状況

(平成27年2月28日)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		20,000

9 収入未済額調べ

(平成27年2月28日現在)

(単位:円)

収入科目 目	区分		過年度						年度分			現年度分		収入未済額 (A+B)	未収理由
	節	細節	前年度 以前からの繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳			収入済額	収入 未済額 (B)				
							23年度 以前	24年度	25年度						
家畜類売払収入			0	0	0	0	0	0	0	0	46,548,114	46,473,603	74,511	74,511	収入年月日 H27年3月3日
		計(節)	0	0	0	0	0	0	0	0	46,548,114	46,473,603	74,511	74,511	
		目計	0	0	0	0	0	0	0	0	46,548,114	46,473,603	74,511	74,511	
		合計	0	0	0	0	0	0	0	0	46,548,114	46,473,603	74,511	74,511	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(平成27年2月28日現在)

(単位:円)

予算科目 (目)	予算令連額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月 日	支出金額	支出の根 拠法令 名等(規 約、要綱)	備考
新規以外のもの						25,000		
目計						25,000		
合計						25,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成27年2月28日)(単位:円)

予算科目 (目)	国 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	支出の状況			備考	
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約期間		完了 年月日	支出 区分	支出 年月日		金額
畜産試験場費	単県	自動搾乳システム メンテナンス業務委 託	藤原産業(株)鳥取 営業所	1,296,000	(H26.4.1) 1,296,000	H26.4.1 ~ H27.3.31	H26.3.24 (免除)	H26.5.31外 H26.6.1外	H26.6.23他	1,080,000	メーカー代理 店が県内に1 社しかないた め。	
	単県	砂丘地飼料作物栽培 試験ほ管理委託	武田 富士男	211,240	(H26.5.1) 211,240	H26.5.1 ~ H26.9.30	H26.4.21 (免除)	H26.9.30 H26.9.30	26.10.15	211,240		
	単県	作業環境測定業務 委託	一般社団法人 鳥取県産業環境協 会	306,720	(H26.7.18) 223,020	H26.7.18 ~ H27.3.31	H26.7.17 (免除)	H27.2.27				
	単県	自給飼料収穫作業 委託	大山コンピューコントラ クター組合	1,489,600	(H26.10.17) 1,489,600	H26.10.17 ~ H26.11.28	H26.10.14 (免除)	H26.10.17 H26.10.17	26.11.12	1,489,600		
	単県											
予定価格が20万円 未満のもの										187,822		
目 計										2,968,662		
合 計										2,968,662		

該当なし

13 工事請負費調べ

14 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア 土地

(平成27年2月28日現在)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	本年度異動状況				前年度末				本年度末				備考
			異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)	価額(円)		
														増減別	
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字西 高野606-1外	H	0	4,635,274	増加	0	4,635,274	H	0	4,635,274	増加	269,482.85	4,635,274	
計				0	4,635,274	減少	0	4,635,274		0	4,635,274		269,482.85	4,635,274	
普通財産			H	0	0	増加	0	0	H	0	0	増加	0.00	0	
計				0	0	減少	0	0		0	0		0.00	0	
合計				0	4,635,274		0	4,635,274		0	4,635,274		269,482.85	4,635,274	

イ 建物

(平成27年2月28日現在)

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	本年度異動状況				前年度末				本年度末				備考
			異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)	価額(円)		
														増減別	
行政財産	事務所	琴浦町松谷	H	0	34,684,000	増加	0	34,684,000	H	0	34,684,000	増加	716.20	34,684,000	
	ポムベ庫		H	0	事務所に含む	減少	0	事務所に含む	H	0	事務所に含む		6.00	事務所に含む	
	直接検定牛舎		H	0	13,160,000	増加	0	13,160,000	H	0	13,160,000	増加	448.00	13,160,000	
	鋸屑置場		H	0	7,614,245	減少	0	7,614,245	H	0	7,614,245	減少	42.00	7,614,245	
	種雄牛舎		H	0	21,500,000	増加	0	21,500,000	H	0	21,500,000	増加	777.60	21,500,000	
	人工授精舎		H	0	5,993,906	減少	0	5,993,906	H	0	5,993,906	減少	235.00	5,993,906	
	管理舎		H	0	800,000	増加	0	800,000	H	0	800,000	増加	19.87	800,000	
	和牛育成牛舎		H	0	5,640,000	増加	0	5,640,000	H	0	5,640,000	増加	301.18	5,640,000	
	和牛繁殖牛舎		H	0	45,170,000	減少	0	45,170,000	H	0	45,170,000	減少	603.20	45,170,000	
	待機牛舎		H	0	3,171,088	増加	0	3,171,088	H	0	3,171,088	増加	216.00	3,171,088	
	秤量場		H	0	665,000	増加	0	665,000	H	0	665,000	増加	19.87	665,000	
	車庫		H	0	9,913,000	増加	0	9,913,000	H	0	9,913,000	増加	160.00	9,913,000	
	屋外便所		H	0	196,500	減少	0	196,500	H	0	196,500	減少	3.75	196,500	
	生物工学棟(生物)		H	0	23,237,229	増加	0	23,237,229	H	0	23,237,229	増加	220.91	23,237,229	
	農機具庫		H	0	7,335,367	減少	0	7,335,367	H	0	7,335,367	減少	335.40	7,335,367	
	供卵・受卵牛舎		H	0	40,379,000	増加	0	40,379,000	H	0	40,379,000	増加	1,023.76	40,379,000	
	繋留場		H	0	1,000,000	増加	0	1,000,000	H	0	1,000,000	増加	33.92	1,000,000	

行政・普通財産 の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月 日		面積(m ²)
	肥育牛舎		837.01	37,080,000	増加	H	0	0		837.01	37,080,000	
	堆肥舎		997.20	49,985,150	増加	H	0	0		997.20	49,985,150	
	隔離舎		262.20	16,380,000	減少	H	0	0		262.20	16,380,000	
	後代検定牛舎		1,112.30	79,191,000	増加	H	0	0		1,112.30	79,191,000	
	飼料保管庫		250.00	15,309,000	減少	H	0	0		250.00	15,309,000	
	乳牛舎		737.10	69,241,200	増加	H	0	0		737.10	69,241,200	
	生物工学棟(育種)		525.08	74,517,450	減少	H	0	0		525.08	74,517,450	
	旧乳牛舎		396.69	3,600,000	増加	H	0	0		396.69	3,600,000	
	旧乳牛育成牛舎		198.34	1,500,000	減少	H	0	0		198.34	1,500,000	
	旧飼料庫		148.76	2,150,000	増加	H	0	0		148.76	2,150,000	
計			10,627.34	569,413,135	減少	H	0	0		10,627.34	569,413,135	
普通財産			0.00	0	増加	H	0	0		0.00	0	
計			0.00	0	減少	H	0	0		0.00	0	
合計			10,627.34	569,413,135			0	0		10,627.34	569,413,135	

ウ 山林

該当なし

エ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機)

該当なし

オ 物権

該当なし

カ 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)

(ア) 異動状況

該当なし

(イ) 出願及び登録の状況

該当なし

(ウ) 活用の状況

該当なし

キ 有価証券

該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成27年2月28日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		購入額	使用額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	18,665	144,520	95,358	67,827	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	18,665	144,520	95,358	67,827	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地

(平成27年2月28日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	電力供給施設	琴浦町松谷字西高野606-1	電柱 6	平23.4.1	昭51.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額 1,500	8,400	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所		
			支線 4				180				
			電柱 7				年額 180	2,520			
			支線 5				年額 180				
			支線 2				年額 180				
			支柱 1				年額 180	360			
			支線 1				年額 1,500	3,000			
			支線 1				年額 1,500				
			電柱 5				年額 1,500	16,500			
			支線 4				年額 1,500	3,000			
計	電気通信設備			平26.4.1	平16.4.16	平26.4.1~平31.3.31	月額・年額	33,780	西日本電信電話(株)鳥取支店		
普通財産											
計								0			
合計								33,780			

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏	所名	
行政財産	自動販売機	琴浦町松谷字西高野606-1	1.25㎡	平25.4.1	平19.6.29	平25.4.1~平30.3.31	年額 7,780	7,780	鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信		
計						月額・年額	7,780				
普通財産								0			
計								7,780			
合計								7,780			

(2) 物品

(平成27年2月28日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先 住所名	使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料				
牛	1	かつただてる3	H24.10.1 ～ H27.9.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小濱 謙	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	みゆうひさ1	H24.10.1 ～ H27.9.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小濱 謙	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	やすひらかね1	H24.10.1 ～ H27.9.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小濱 謙	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	くにきよふく1	H25.12.1 ～ H28.11.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小濱 謙	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	たからひさ3	H25.12.1 ～ H28.11.30	月額・年額 無償	0	鳥取市越路字蓬谷775-1 公益財団法人鳥取県畜産振興協会 理事長 小濱 謙	鳥取県畜産振興協会	研究目的	
牛	1	福増	H26.10.1 ～ H29.3.31	月額・年額 1,000,000	1,080,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 信國 卓史	岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	
合計					1,080,000				

16 借受不動産明細調べ

該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5	1,000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免			
4月	32	1	1			31	31	0		
5月	31					31	31	0		
6月	31	1	1	1	1	31	31	0		
7月	31					31	31	0		
8月	31			1	1	32	32	0		
9月	32					32	32	0		
10月	32					32	32	0		
11月	32					32	32	0		
12月	32					32	32	0		
1月	32			1	1	33	33	0		
2月	33					33	33	0		
3月										
合計								0		

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

(平成27年 2月28日現在)

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本年度		備考
					車検年月日	修理費等	
小型貨物ダンプ	H26	鳥取100さ7465	H26.1.27	2,593	—	円 91,332 (内訳) タイヤ交換 9,720円 修繕 49,572円 1,000km点検 11,952円 タイヤ交換 9,720円 6ヶ月点検 10,368円	
普通貨物自動車	H15	鳥取100は498	H15.6.27	30,312	H26.6.24	90,227 (内訳) 3ヶ月点検 11,016円 車検・部品 68,195円 6ヶ月点検 11,016円	
普通貨物トラック	H9	鳥取11せ8484	H9.7.15	91,964	H26.7.15	135,447 (内訳) タイヤ交換 7,776円 3ヶ月点検 10,368円 車検・部品 97,215円 タイヤ交換 9,720円 6ヶ月点検 10,368円	
合計		3台		124,869		317,006	

19 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

20 備品の処分状況調べ

(平成27年2月28日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管機年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定年月 日	不用とする理由	処分			備考	
							売払棄却の 別	売払方法・棄 却理由	処分 年月日		売払額・処分 費用
和牛(たからもの)	1	24.10.18	8	499,800	26.07.17	後代検定終了	売払	委託販売	26.07.24	943,694	
和牛(しらゆり)	1	24.10.01	8	311,000	26.07.17	後代検定終了	売払	委託販売	26.07.24	1,102,940	
和牛(花清)	1	24.12.06	8	663,600	26.07.17	後代検定終了	売払	委託販売	26.07.24	1,145,784	
和牛(百合風)	1	19.11.01	8	416,822	26.09.02	種雄牛廃用	売払	委託販売	26.09.09	111,002	
和牛(せきなつこ)	1	24.10.18	8	430,000	26.08.15	後代検定終了	売払	委託販売	26.08.20	928,190	
和牛(鯉白)	1	24.12.06	8	352,000	26.08.15	後代検定終了	売払	委託販売	26.08.20	1,577,141	
和牛(さちり)	1	25.01.04	8	325,000	26.08.15	後代検定終了	売払	委託販売	26.08.21	1,055,100	
和牛(あゆこ)	1	24.10.18	8	430,500	26.08.15	後代検定終了	売払	委託販売	26.08.21	1,025,821	
和牛(天白鱈)	1	25.03.07	8	379,000	26.10.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.10.22	1,330,629	
和牛(鈴海茂)	1	25.03.07	8	379,000	26.10.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.10.22	1,379,938	
和牛(空美)	1	25.03.07	8	539,700	26.10.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.10.22	1,014,105	
和牛(周之)	1	25.03.07	8	477,750	26.10.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.10.22	1,090,196	
和牛(内白鱈)	1	25.03.07	8	411,600	26.10.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.10.22	969,346	
和牛(盛姫85)	1	25.04.18	8	544,950	26.11.04	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.06	1,329,848	
和牛(北白鱈)	1	25.04.18	8	468,300	26.11.04	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.06	1,043,026	
和牛(かつしろ)	1	25.03.07	8	471,450	26.11.05	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.19	1,058,493	
和牛(なつ85の3)	1	25.03.07	8	497,700	26.11.05	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.19	1,144,724	
和牛(さちゆ)	1	25.03.07	8	343,000	26.11.19	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.27	1,096,977	
和牛(みゆら85の3)	1	25.03.07	8	343,000	26.11.19	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.27	1,106,082	
和牛(嶺山若)	1	25.04.18	8	556,500	26.12.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.12.11	1,188,696	
和牛(夏優)	1	25.04.18	8	536,550	26.12.09	後代検定終了	売払	委託販売	26.12.17	1,412,964	
和牛(八重勝)	1	16.12.03	8	724,500	27.01.15	種雄牛廃用	売払	委託販売	27.01.20	87,437	収入3月以降
和牛(なつみかかん)	1	24.09.02	8	343,300	27.01.29	後代検定終了	売払	委託販売	27.02.09	1,188,017	収入3月以降
和牛(夏照福)	1	25.06.06	8	606,900	27.01.29	後代検定終了	売払	委託販売	27.02.09	1,106,160	収入3月以降
和牛(夏八重)	1	25.06.06	8	523,950	27.01.29	後代検定終了	売払	委託販売	27.02.09	1,223,061	収入3月以降
和牛(霧実緒)	1	25.03.07	8	379,000	27.01.07	種雄牛否選抜	売払	入札	27.01.15	2,170,800	
和牛(やすゆら)	1	24.09.06	8	432,600	26.05.07	後代検定終了	売払	せり売り	26.05.21	792,920	
和牛(百合白清85の3)	1	24.10.18	8	525,000	26.05.07	後代検定終了	売払	せり売り	26.05.21	1,058,527	
和牛(あやや)	1	21.06.01	8	266,717	26.07.25	牛群更新	売払	委託販売	26.08.04	244,080	
和牛(かつかつ2)	1	21.06.01	8	266,717	26.07.25	牛群更新	売払	委託販売	26.08.04	300,240	
和牛(糸清)	1	25.01.04	8	352,000	26.07.05	肥育試験終了	売払	委託販売	26.07.24	1,180,236	
和牛(てるぎ)	1	17.03.17	8	428,400	26.06.03	牛群更新	売払	委託販売	26.06.27	66,649	
和牛(はるみ)	1	17.03.17	8	460,950	26.06.03	牛群更新	売払	委託販売	26.06.27	67,099	
和牛(あんたか)	1	24.09.06	8	369,600	26.06.03	後代検定終了	売払	せり売り	26.06.11	811,626	
和牛(あんたま)	1	24.09.06	8	363,300	26.06.03	後代検定終了	売払	せり売り	26.06.11	690,510	
和牛(福豆)	1	24.10.18	8	537,600	26.06.03	後代検定終了	売払	委託販売	26.06.05	972,239	
和牛(ゆりしらくにきよ)	1	24.10.01	8	311,000	26.06.03	後代検定終了	売払	委託販売	26.06.05	999,093	
和牛(可憐)	1	24.12.06	8	552,300	26.06.03	後代検定終了	売払	委託販売	26.06.19	1,081,653	

和牛(香183)	1	24.09.06	8	425,250	26.04.07	後代検定終了	売払	委託販売	26.04.09	847,567
和牛(安照美津)	1	24.09.06	8	466,200	26.04.07	後代検定終了	売払	委託販売	26.04.09	643,598
和牛(川崎12)	1	24.09.06	8	475,650	26.04.07	後代検定終了	売払	委託販売	26.04.09	872,478
和牛(のそみ)	1	18.01.25	8	579,600	26.04.04	牛群更新	売払	委託販売	26.04.07	336,960
和牛(はつみ)	1	18.01.25	8	580,650	26.04.04	牛群更新	売払	委託販売	26.04.07	373,680
和牛(やすしげ)	1	18.06.01	8	365,000	26.04.04	牛群更新	売払	委託販売	26.04.07	313,200
和牛(ますひら18)	1	19.03.09	8	429,450	26.04.04	牛群更新	売払	委託販売	26.04.07	358,560
和牛(てるしげ)	1	19.06.01	8	336,077	26.04.04	牛群更新	売払	委託販売	26.04.07	326,160
和牛(みゆう)	1	18.09.07	8	752,850	26.08.12	牛群更新	売払	委託販売	26.08.20	65,119
和牛(みつよしふく)	1	19.03.09	8	470,400	26.08.12	牛群更新	売払	委託販売	26.08.20	67,794
和牛(いとくにしげ1)	1	20.10.01	8	255,004	26.08.12	牛群更新	売払	委託販売	26.08.20	63,702
和牛(ひらさく9409)	1	20.07.01	8	282,787	26.09.05	牛群更新	売払	委託販売	26.09.16	61,077
和牛(ふくかねざくら1)	1	21.04.01	8	295,242	26.09.05	牛群更新	売払	委託販売	26.09.16	58,887
和牛(ふね)	1	22.07.09	8	280,025	26.09.05	牛群更新	売払	委託販売	26.09.16	63,926
和牛(ふね)	1	24.09.03	8	322,000	26.09.05	牛群更新	売払	委託販売	26.09.16	52,474
和牛(夏忠照)	1	25.04.01	8	379,000	26.10.09	肥育試験終了	売払	委託販売	26.10.22	981,789
和牛(八重桜)	1	25.05.01	8	372,700	26.10.09	肥育試験終了	売払	委託販売	26.10.22	862,447
和牛(太実照)	1	25.10.01	8	414,000	26.10.09	肥育試験終了	売払	委託販売	26.10.22	373,680
和牛(たかなみ)	1	25.03.07	8	343,000	26.11.18	肥育試験終了	売払	委託販売	26.11.26	799,832
和牛(はつち)	1	25.03.07	8	343,000	26.11.17	肥育試験終了	売払	委託販売	26.11.27	891,272
和牛(くらいまつくす)	1	25.03.07	8	328,650	26.11.17	後代検定終了	売払	委託販売	26.11.27	881,492
和牛(八重国)	1	25.06.01	8	372,700	26.12.08	肥育試験終了	売払	委託販売	26.12.11	753,564
和牛(勝安宝)	1	25.07.01	8	390,800	26.12.08	肥育試験終了	売払	委託販売	26.12.11	835,572
乳牛(パインハリー フォーカ-フレキサンダー ミッキー)	1	26.03.01	8	72,000	26.04.22	試験研究対象外	売払	委託販売	26.04.24	194,400
乳牛(パインハリー アイロワワ エステンアター ツイスト)	1	26.03.01	8	72,000	26.04.22	試験研究対象外	売払	委託販売	26.04.24	199,800
乳牛(パインハリー アイロワワ フレキサンダー クッキー)	1	26.02.01	8	72,000	26.06.23	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.26	243,000
乳牛(パインハリー アイロワワ ゴールドアア ナナ)	1	26.02.01	8	72,000	26.06.23	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.26	248,400
乳牛(パインハリー アイロワワ フローズ アスト)	1	26.03.01	8	72,000	26.06.23	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.26	248,400
乳牛(パインハリー アイロワワ ゴールドウイン フレキシ-	1	20.03.14	8	27,000	26.06.03	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.05	108,000
乳牛(パインハリー フォーカ-ホッター オリビア)	1	18.09.01	8	100,000	26.05.28	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.02	86,400
乳牛(パインハリー アイロワワ ミスターサム フリル)	1	18.10.01	8	84,000	26.05.28	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.02	47,920
乳牛(パインハリー グラスヒル ゴールドアア リズム)	1	23.08.01	8	54,000	26.05.28	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.02	54,920
乳牛(パインハリー アイロワワ フレキサンダー ケット フタコ)	1	25.03.01	8	68,000	26.05.28	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.02	110,160
乳牛(パインハリー アイロワワ ゴールドウイン フレキシ)	1	25.04.01	8	71,000	26.05.28	試験研究対象外	売払	委託販売	26.06.02	103,680
乳牛(パインハリー フォーカ-タミオン オーロ)	1	18.02.01	8	100,000	27.01.22	試験研究対象外	売払	委託販売	27.02.02	114,480
乳牛(パインハリー アイロワワ ヌックアウト ハンタブル)	1	23.04.29	8	54,000	27.01.22	試験研究対象外	売払	委託販売	27.02.02	163,080
乳牛(パインハリー アイロワワ ヌックアウト ハンタブル)	1	23.09.20	8	63,000	27.01.22	試験研究対象外	売払	委託販売	27.02.02	170,640
小計	75			27,062,091						50,081,833
乳牛(パインハリー グラスヒル サミュエル タビオン)	1	19.08.01	8	93,000	26.08.12	病畜廃用		棄却	26.08.12	-
乳牛(パインハリー アイロワワ テンセル ヘルシヤ)	1	22.12.01	8	28,000	26.07.16	病畜廃用		棄却	26.07.16	-
乳牛(パインハリー アイロワワ エレクト アパロニチャー)	1	21.11.01	8	40,000	26.06.24	病畜廃用		棄却	26.06.24	-
乳牛(パインハリー ハンタブル グラスヒル シェルバ)	1	25.08.01	8	74,000	27.02.10	病畜廃用		棄却	27.02.10	-
小計	4			235,000						0
合計	4			235,000						0

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1)現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

該当なし

(2)物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物確認できなかった物品名	個数
H26年12月5日 ~ H26年12月25日	・有 (・無)		

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名 財産管理費		(平成27年2月28日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県有施設営繕事業	場内4施設の修繕を実施した。	

目 名 農業総務費		(平成27年2月28日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
農林水産部管理運営費	新採職員研修に要する経費	
先端的農林水産試験研究推進強化事業	試験課題検討会に要する経費	

目 名 畜産振興費		(平成27年2月28日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
県優良種雄牛造成事	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行うための経費	

目 名 畜産総務費		(平成27年2月28日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
畜産課管理運営費	性判別精液製造及び共同研究、種雄牛調査、視察に要する経費	
家畜商・家畜人工授精師等免許関係事業	各種講習会に要する経費	

目 名 畜産試験場費		(平成27年2月28日現在)
事業名	事業の概要 (目的、実績等)	
畜産試験場管理運営	庁舎・牛舎・ほ場の警備、清掃委託料、光熱水費、庁舎修繕料、消耗品等の購入等維持管理を行う経費。	
畜産試験場施設整備費	トラクターの更新経費	
試験研究費	試験研究課題等14事業を実施。詳細は「6 主な事業に関する調べ」及び「2.5 試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載	

23 農業機械の管理状況

品名	形式及び規格	取得年月日	用途	稼働日数	燃料		修繕費用	左の主な内容		備考
					消費量	金額				
トラクター	イセキ T8010	S61年6月18日	圃場管理	5	83	11,620				
	ジョンディア 2650D	H3年7月17日	"	144	851	119,140	501,206	オイル・エレメント交換他 油圧ヘッド脱着交換 全オイル・全エレメント交換他	101,574 296,978 102,654	
	マッセイ ファーガソン① MF6160-4C	H7年10月16日	"	41	852	119,280	466,959	全オイル・全エレメント交換他 リアワイパーモーター修理 リアガラス破損交換 全オイル・全エレメント交換他	159,386 52,920 120,204 134,449	
	マッセイ ファーガソン② MF6160-4C	H9年6月26日	"	42	871	121,940	1,121,374	全オイル・全エレメント交換他 スターターモーター交換 ギアチェンジスイッチ交換 サーモスイッチノブ交換 全オイル・全エレメント交換他 ハブ・ギア破損修理	234,986 143,100 19,710 11,448 160,250 551,880	
	ヤンマー EG83	H26年6月24日	"	238	980	137,200	244,555	エアコンガスの補充 事故防止ウエイト装着 全オイル・全エレメント交換他	19,440 117,504 107,611	
ミニホイル ローダー	コマツ WA20-2	H5年7月27日	牛舎管理	247	366	51,240	34,754	特定自主検査 オイル・エレメント交換他	21,600 13,154	
	コマツ WA20-2E	H8年3月6日	"	186	404	56,560	50,263	特定自主検査 オイル・エレメント交換他	21,600 28,663	
	クボタ RA300-3	H15年6月5日	"	366	908	127,120	58,876	パンク修理 エアークリーニングエレメント清掃	5,076 53,800	
	クボタ R520-D	H15年10月17日	"	201	722	101,080	31,320	特定自主検査	31,320	
	クボタ R530-Z	H23年8月9日	"	155	1,184	165,760	143,623	キャビンドア変形修理 前後進作動不良修理 バッテリー交換 特定自主検査	55,193 19,915 30,888 37,627	
計					7,221	1,010,940	2,652,930		2,652,930	

25 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成27年2月28日現在)

事業名	「鳥取和牛オレイン55」の増産に向けた飼料給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	25年度 ～ 28年度		(予算額) 支出済額	(10,651,000円) 9,768,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料給与と技術の開発により「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加を図る。 (単・受)	畜産試験場 農家	肥育牛50頭	オレイン酸含有率の向上を目的に、米ぬかの給与と肥育試験を実施する。 また、オレイン酸含有率生前診断法を確立するため、出荷前の牛の耳垢との脂肪酸組成との関連性を調査する。	(成果) 現在、肥育試験は実施中である。 オレイン酸生前診断は、出荷前の肥育牛106頭の耳垢を採取し、その脂肪酸組成と枝肉脂肪中のオレイン酸含有率を調査したところ、枝肉のオレイン酸と耳垢のミリストレイン酸(C14:1)に有意な弱い相関が見られた程度で、相関の高いものは確認できなかった。 (課題) オレイン酸生前診断は、今後出荷前の肥育牛の血液の調査を行う。

(平成27年2月28日現在)

事業名	黒毛和種去勢肥育牛の短期肥育技術の確立		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(6,754,000円) 6,193,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
全国和牛能力共進会での優秀成績獲得及び肥育コスト削減のため短期肥育技術の確立を図る。 (単)	畜産試験場	肥育牛40頭	短期肥育において、通常肥育の濃厚飼料増給パターンとの対照区と、対照区より早く濃厚飼料を増給する試験区を比較し、発育及び肉質に及ぼす影響を調査することにより、適切な濃厚飼料の増給方法を検討する。	(成果) 現在、肥育試験実施中であるため途中経過であるが、前期のDG(1日当たりの平均増体重)は試験区1.07、対照区0.94と濃厚飼料給与量が多い試験区が大きい傾向が見られた。中期は2ヶ月間の成績であるが、対照区の濃厚飼料給与量が増加したことにより試験区0.91、対照区1.16と対照区が試験区を上回った。 (課題) 今後は飼料添加材の利用により、発育及び肉質の改善を検討する。

(平成27年2月28日現在)

事業名	強化哺育を活用した和仔牛の育成技術 確立試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 28年度		(予算額) 支出済額	(3, 7 4 3, 0 0 0 円) 3, 7 4 3, 0 0 0 円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
骨格の大きな 筋肉質タイプ の和仔牛を育 成し、せり価 格の向上を図 る。	畜産試験場	子牛30頭	黒毛和種子牛に従来より高 蛋白、低脂肪の代用乳を多 量に給与する「強化哺育」 を行い、標準的な成分の代 用乳を給与する区（標準 区）と比較し、その有効性 を検討する。	(成果) 黒毛和種雄子牛の生後3ヶ月齢までのDG（1日 当たりの平均増体重）は「強化哺育」0.95、 標準区0.58と有意に優れた発育が認められ た。 (課題) 離乳後の下痢によって発育が停滞する子牛が みられたことから、離乳以降せり上場までの 飼養管理方法を検討する必要がある。

(平成27年2月28日現在)

事業名	鳥取和牛の効率的な増産と改良に向け た体外受精卵利用技術体系の構築		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(4, 3 8 1, 0 0 0 円) 4, 0 1 5, 0 0 0 円
試験研究 調査の目的	試験研究調 査を行う場 所	試験研究 調 査 の 対 象 ・ 数 量 ・ 範 囲	本年度の試験研究 調 査 等 の 目 標	試験研究調査の成果・課題
和牛の増頭と 改良のため、 ほとんど未利 用であった体 外受精卵技術 を体系化して 普及する	畜産試験場 倉吉農業高 校 農家	雌牛20頭	体外受精卵の生産実証（経 膈採卵あるいはと畜牛由来 体外受精卵の生産と移植） および体外培養系の効率化	(成果) 妊娠牛およびと畜した牛からの受精卵生産と 乳牛（経産）への移植を行い、例数は少ない ものの現場で利用できる可能性が示された。 (妊娠牛経膈採卵由来受精卵の分割2卵移植 により75% (3/4) が受胎し、50% (2/4) で双 胎を確認。と畜牛由来受精卵生産の移植によ り50% (3/6) の受胎を得た。) (課題) 2卵移植により分娩や産子に与える 影響が未確認。また、現状では受卵牛頭数の 確保が難しいため、今後は分娩状況を見なが ら、農家への協力要請について検討する。

(平成27年2月28日現在)

事業名	優良遺伝子を活用した新鳥取和牛の創造		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～		(予算額)	(2, 814, 000円)
			支出済額	2, 585, 000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

(平成27年2月28日現在)

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年度～		(予算額)	(8, 142, 000円)
			支出済額	7, 469, 000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
鳥取和牛肉のブランドカアップのため、消費者や生産者が求める「うまみ」のある鳥取和牛肉生産に向けた研究を行う。 (単)	畜産試験場	鳥取県に出荷される黒毛和種肥育産子の牛肉サンプル	・和牛の赤身肉中のおいしさに関係していると言われるグリコーゲン含有量を調査 ※グリコーゲンとは、ブドウ糖が結合したデンプンのこと。	(成果) ・790検体分を分析した結果、平均値は1.42 mg/gであり、性別による違い(雌の方が含有量が多い)及び枝肉重量と負の相関を認めた。 (課題) ・鳥取和牛肉を用いてグリコーゲン含有量の違いによる食味評価の違いを明らかにする必要がある。 ・グリコーゲン含有量の遺伝率(遺伝的な寄与率)などを明らかにし、育種改良に活用できるかどうかを調査する。

(平成27年2月28日現在)

事業名	和牛産肉能力直接検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～		(予算額)	(3, 114, 000円)
			支出済額	2, 476, 550円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛産肉能力直接検定 (単)	畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。	(成果) 検定実施頭数 : 2頭 検定終了頭数 : 1頭 選抜頭数 : 1頭 (課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

(平成27年2月28日現在)

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(31, 852, 000円)
			支出済額	29, 246, 845円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優秀な種雄牛造成のための肥育試験実施 (単)	畜産試験場	1種雄牛当たり、畜産試験場10頭・肥育農家8頭を肥育試験に供する	直接検定試験で選抜された待機種雄牛の産子を肥育し、遺伝的産肉能力を判定して、優秀な種雄牛を選抜・造成する。	(成果) 検定実施種雄牛: 8頭 産子肥育頭数 : 142頭 検定終了種雄牛: 3頭 (うち2頭合格) (課題) 遺伝的産肉能力を最大限発揮させるための、飼養管理技術のさらなる向上。 オレイン酸含有率を高めるための飼養管理技術の習得

(平成27年2月28日現在)

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度～		(予算額)	(9, 512, 000円)
			支出済額	8, 723, 000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
凍結精液の作成及び配布 (単)	畜産試験場	黒毛和種種雄牛及び候補牛18頭	優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛精液を安定供給する。	(成果) 精液生産本数: 27, 806本 精液配布本数: 13, 844本 (うち販売12, 970本) (課題) 優秀な種雄牛精液供給の安定化。

(平成27年2月28日現在)

事業名	砂丘地飼料作物栽培及び牛への給与に関する試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	25年度 ～ 27年度		(予算額) 支出済額	(380,000円) 352,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載。				

(平成27年2月28日現在)

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	24年度 ～ 26年度		(予算額) 支出済額	(73,000円) 73,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料作物を試験栽培し、県内の気候に適した優良品種を選定する。 (単)	畜産試験場	イタリアンライグラス ライ麦 トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) イタリアンライグラスでは今年度終了した試験は無かった。ライ麦では「ボンネル」の3年平均収量が標準品種を下回る成績となった。トウモロコシでは、「Z-CORN128」の3年平均収量が標準品種を上回り良好な成績となった。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

(平成27年2月28日現在)

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	26年度		(予算額) 支出済額	(737,000円) 671,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料を分析し、自給飼料生産技術・飼料給与技術の改善を支援する。 (単)	畜産試験場	飼料分析依頼件数：748件	・家畜飼料の栄養成分分析を行い、飼料給与設計の基礎データとして活用。 ・家畜の生産性(牛乳・牛肉)や繁殖性に最も影響が強い「飼料給与技術」の向上。	(成果) 飼料分析件数は年間700～800検体で推移しており、綿密な飼料設計の基礎データとして活用されている。また、サイレージ共励会において高品質な自給粗飼料生産に対して積極的に指導・提言し、品質向上に向けた啓発活動を展開している。 (課題) 引き続き、自給粗飼料の収量及び品質の向上に向けた研究・啓発活動を実施する。

(平成27年2月28日現在)

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	S41年度 ～ 継続実施		(予算額) 支出済額	(5,621,000円) 5,148,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ 給与する自給 粗飼料を生産 する (単)	畜産試験場 飼料畑	圃場面積 11.5ha	作付け品種 春作：トウモロコシ 目標：180t 秋作：イソアライグサ 目標：3500- トウモロコシの収穫は県内 初のチューブバッグ方式を 農家委託で行う。 (チューブバッグ方式：直 径2.4m、長さ60mのナイ ロン製チューブの中にトウ モロコシを詰め、発酵させ る方式)	(成果) 秋作イタリアンは3230- シは204tと収穫量を増加できた。 チューブバッグサイロ方式により密閉度が 高まり乳酸発酵が促進されたため、pH3.86 と良質なサイレージが確保できた。(良質発 酵の目安はpH4.2以下) また、通常のバンカーサイロ方式と比較し て作業行程が少ないといったメリットがある ため、作業時間は短縮された。なお、作業性 とコストの比較については現在詳細なデータ を収集中。 (課題) 自給飼料の収穫量は確保できたが、硝酸態 窒素濃度がやや高いため、施肥体系について 検討する必要がある。

(平成27年2月28日現在)

事業名	所得向上を目指したTMR調製技術の 確立試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	26年度 ～ 28年度		(予算額) 支出済額	(9,927,000円) 9,097,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
乳牛へ給与す るTMRの最適 な調製技術の 確立と新たな 自給飼料の 活用でコスト 削減を図る。 (単)	畜産試験場 県内酪農家	当场飼養 の搾乳牛 20頭	様々な物理性のTMRの 給与と物理性の評価方法を 検討する。 県内酪農家のTMRの実 態調査を行う。 (TMR：牧草類と穀類等 を機械で混ぜ合わせた「混 合飼料」)	(成果) 場内で給与しているTMRの飼料分析の結果 は従来の県平均と比較してやや粗いことが 確認できた。 実態調査アンケートを作成中。 (課題) 自給飼料の作付体系に則した現場での活用 可能な給与指標の作成が急がれる。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし